

平成 2 9 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立中野小学校

平成 2 9 年 4 月

## 大阪市内立中野小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

- 遠慮がちであったり、周りを気にしたりする子があるので、進んで自分の意見を表現できる子どもを育てる。
- 基礎・基本の定着をさらに確実にするために、計算・漢字練習など基本の力を確実につけられるようにする。
- 持久力や瞬発力をつけ、意欲的・日常的に体を動かす子どもを育てる。

**中期目標****【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

- 平成32年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と肯定的に答える児童の割合を90%以上の高水準に保つ。（施策2 安全で安心できる学校、教育環境の構築）
- 平成32年度3学期に実施する児童学校生活アンケートの「学校は楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を93%以上の高水準に保つ。  
（施策2 安全で安心できる学校、教育環境の構築）

**【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

- 平成32年度の小学校学力経年調査における正答率を、全市平均よりも7ポイント以上高い水準を保つ。（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）
- 平成32年度3学期に実施する児童学校生活アンケートで、「学習したことがよくわかる」と肯定的に回答する児童の割合を95%以上の高水準に保つ。  
（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】****全市共通目標（小・中学校）**

- 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成29年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を93%以上にする。
- 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

**学校園の年度目標**

- 児童学校生活アンケートの「学校は楽しい。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。
- 児童学校生活アンケートの「遠足や運動会・児童会の行事は楽しい。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。
- 児童学校生活アンケートの「学校のきまりを守っている。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

## 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

### 全市共通目標（小・中学校）

○平成２９年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。

（前年度、大阪市 75、本校 80）

○平成２９年度の小学校学力経年調査における正答率５４％以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より５ポイント減少させる。

○平成２９年度の小学校学力経年調査における正答率７５％以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より５ポイント増加させる。

○平成２９年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」にたいして、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

○平成２９年度の全国体力・運動習慣調査において、特に課題であるソフトボール投げの平均の記録が、前年度より上回る。

### 学校園の年度目標

○児童学校生活アンケートの「学習したことがよくわかる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を９５％以上にする。

○児童学校生活アンケートの「学習は、楽しくて、いろいろなことにチャレンジしてみようと思う。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を９０％以上にする。

○児童学校生活アンケートの「自分の考えを説明したり、発表したりすることをがんばった。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を８０％以上にする。

○児童学校生活アンケートの「運動場に出て元気に遊んでいる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を９０％以上にする。

○ソフトボール投げを一学期と三学期に実施し、一学期の平均を三学期の平均が上回る。

## ３ 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪府立中野小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・中学校)</b></p> <p>○平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を93%以上にする。</p> <p>○平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>○平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○児童学校生活アンケートの「学校は楽しい。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。</p> <p>○児童学校生活アンケートの「遠足や運動会・児童会の行事は楽しい。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。</p> <p>○児童学校生活アンケートの「学校のきまりを守っている。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策2、安全で安心できる学校、教育環境の実現】</b></p> <p>○清掃活動通じて、学校の教育環境を整えることで、健やかな心と自尊感情を育む。 (年度目標)</p> <p><b>指標</b></p> <p>●児童学校生活アンケートの「係活動や当番活動で、みんなのために役立っている。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>●保護者学校生活アンケートの「子どもは友だちを大切にする気持ちやみんなで使うものを大切にする気持ちが育っている。」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を90%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容②【施策3、道徳心・社会性の育成】</b></p> <p>○学級活動を中心に自ら進んで物事に取り組む気持ちを育て、自己の役割に対して責任をもって果たしたり、集団のために貢献したりしようとする教育を進めることで自尊感情を育てる。 (年度目標)</p> <p><b>指標</b></p> <p>●児童学校生活アンケートの「係活動や当番活動で、みんなのために役立っている。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容③【施策7、地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</b></p> <p>○「家庭学習チェックシート（なかのマスター）」に、がんばる項目の強化月間の欄を設けるなどの工夫を加え、基本的な生活習慣と家庭学習の関連の重要性をさらに家庭に伝える。また、結果の分析や発信法にも工夫を凝らしていく。 (年度目標)</p> <p><b>指標</b></p> <p>●「家庭学習の手引き（すすめ）」、「家庭学習チェックシート（なかのマスター）」の内容をさらに工夫して作成する。</p>	

<p>●保護者学校生活アンケートの「学校は、学校だより、ホームページ等で教育方針をわかりやすく伝えている。」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を90%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

## 大阪市内立中野小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・中学校)</b></p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。 (前年度、大阪市75、本校80)</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における正答率54%以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント減少させる。</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における正答率75%以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント増加させる。</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」にたいして、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○平成29年度の全国体力・運動習慣調査において、特に課題であるソフトボール投げの平均の記録が、前年度より上回る。</p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○児童学校生活アンケートの「学習したことがよくわかる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。</p> <p>○児童学校生活アンケートの「学習は、楽しくて、いろいろなことにチャレンジしてみようと思う。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>○児童学校生活アンケートの「自分の考えを説明したり、発表したりすることをがんばった。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○児童学校生活アンケートの「運動場に出て元気に遊んでいる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>○ソフトボール投げを一学期と三学期に実施し、一学期の平均を三学期の平均が上回る。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</b></p> <p>○算数科において問題解決型の学習を全学年で確実に行う（年度目標）</p> <p><b>指標</b></p> <p>●児童学校生活アンケートの「学習したことがよくわかる。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。</p> <p>●児童学校生活アンケートの「学習は楽しくて、いろいろなことにチャレンジしてみようと思う。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容②【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</b></p> <p>○言語での表現能力を向上させる。</p> <p>・国語科では多くの語彙を習得し、わかりやすく相手に伝えることができる指導をする。また、国語科以外のすべての学習においても考えを説明し合える場を設け、表現力を向上できるようにする。（年度目標）</p> <p><b>指標</b></p> <p>●児童学校生活アンケートの「自分の考えを説明したり、発表したりすることをがんばった。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容③【施策6、健康や体力を保持増進する力の育成】</b></p> <p>○体力向上に向けて体育科の授業や外遊びの工夫・改善</p> <p>・ボールを使った運動に興味を持ち、児童が進んで取り組めるよう、道具や環境の整</p>	

備をする。      (年度目標)	
指標 ●ソフトボール投げを一学期と三学期に実施し、一学期の平均を三学期の平均が上回る。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	